

アウトドア・フェスティバル



11月15日、東川アウトドアフェスティバル実行委員会（青木倫子実行委員長）が主催して東川アウトドアフェスティバルを農村環境改善センターで開催しました。

今年が内容が大きく拡充しました。

①映像作家のニール・ハートマン氏（札幌）、同井上卓郎氏（長野県松本市）、写真家佐藤圭氏（札幌）3人が制限時間36時間で町内を撮影表現した作品を競演するスライドセッション②カナダ・バンフ開催のバンフ・マウンテン・フィルムフェスティバルで上映

した一部作品の東川上映会③ダッチオープンクッキングとビーコン講習をするワークショップ④アウトドア用品のフリーマーケット⑤アウトドア、スキー、スノーボード用品などの展示会⑥の5コーナーで会場はお祭り気分。

同フェス中心となるフィルム上映は、2012―2013年にバンフ会場で公開されたアドベンチャー6作品。いずれも大自然の息吹、醍醐味、冒険心を満載し、息をのむ迫力で来場者を魅了しました。

同フェスティバルに呼応して町内のカフェ5カ所でも6人の写真展も開催しました。

君の椅子の森で植樹

10月26日、「君の椅子の森」（東3号北6線）で植樹を行いました。

全国各地から君の椅子のオーナー家族約170人が参加してくれました。小春日の好天に恵まれ、旭岳の冠雪もくっきり。早坂純夫剣淵町長も参加し、「子どもたち、そしてその先に伝わって大きなうねりとして未来に残って

地域交流センターを緑に木の里親が植樹

11月22日、東川小学校に隣接オープンした地域交流センターに木の里親になった家族がカツラの木の幼木を植樹しました。

同センター周囲の公園を緑いっぱいにするという緑化事業の第一弾。町木・カツラの木で果樹公園エリアの周囲に生け垣を造ろう、という計画です。

今年5月、幼児センター、町内小、中学校、一般町民の方に苗木450本を配って木の里親として幼木を育ててもらいました。この日は10組25人の里親が育てた苗木を持参しました。



「僕が植えた苗木は9番目だよ」などと成長を楽しみにしていました。

この後幼児センター、町内小、中学校の児童、生徒たちもカツラの木を植樹する予定です。

いくことを願っています」と参加者を歓迎しました。毎年約10アールずつ植樹してきました。3年目の今年は、ズナラ、シラカバ、ヤチダモ、イタヤカエデ各50本ずつの植樹です。



大西さん一家は麻弥さん、恵登ちゃん、莉胡ちゃん4人で参加

(32)は、恵登ちゃん(3つ)、莉胡ちゃん(1つ)と一緒に親子で参加しました。恵登ちゃんが生まれた時に君の椅子と一緒に写した写真がその年の君の椅子コンテストで準グランプリを受賞したそうです。